

事業シート(概要説明書)					
事業名	津山市工業設備資金利子補給事業			担当部名	産業経済部
				担当課名	経済振興課
事業年度	開始年度:昭和61年度 終了年度:未定				
総合計画での位置付け	産業振興と雇用の創出 地域経済を担う工業の振興 工業の振興				
根拠法令等	中小企業基本法				
実施方法	直接実施	委託	指定管理	補助金	その他
	実施主体・委託先等				
事業概要	目的・必要性 (何のために)	製造業を営む中小企業者や組合等が、新技術・新製品の研究開発のために必要とする事業資金の融資を受けた場合に利子補給を行い、もって工業技術の向上と新しい産業の育成・振興を図ることを目的とする。 中小企業者等が技術力を向上させ、競争力をつけることにより雇用の創出にもつながるものであり、必要な事業である。			
	対象 (誰・何を対象に)	市内に住所又は主たる事業所を有する中小企業者もしくは組合等(製造業者)。			
	事業内容 (手段、手法など)	中小企業者や組合等が金融機関から借り入れた事業資金に対し、年2パーセント相当額の利子補給金を5年間交付する。			

【支出】		H21決算	H22決算	H23決算	H24予算
事業費	報酬(嘱託・臨時職員含む)				
	賃金				
	報償費				
	旅費				
	需用費				
	役務費				
	委託料				
	負担金、補助及び交付金	5,334	4,122	3,744	3,337
	扶助費				
	その他()				
	合計(千円)	5,334	4,122	3,744	3,337

事業費の 財源内訳	国・県からの補助金等				
	地方債				
	その他()				
	一般財源	5,334	4,122	3,744	3,337
合計	5,334	4,122	3,744	3,337	

従事者数	正規職員(人/年)	0.2	0.2	0.2	0.2
	嘱託・臨時職員(人/年)				

事業シート(概要説明書)						
目的達成のための活動指標	活動指標名	単位	H21年度	H22年度	H23年度	
	利用実績(件)	目標		5	5	5
		実績		1	3	4
指標選択理由	本制度の活用状況から、企業の新技術・新製品開発等への取組状況が把握できること。					
事業目的の達成状況	本市の製造業も景気低迷の影響を少なからず受けており、積極的な設備投資は見られていない。					
現在の課題と今後の対応	<p>企業等が新技術・新製品の研究開発を行い先端的な機械設備等の導入を促す制度であるが、近年の利用実態としては機器更新や生産能力の向上、省コスト化を目的としたものに限られている。</p> <p>また、市場金利の低い状況が続いており、本制度を利用することによって実質無金利になるケースもあり、金利負担の軽減策としては過度になっている。</p> <p>制度の創設から25年が経過し、制度の再考が必要とも考えている。</p>					
今後の方向性	<p>直営(拡大・充実) 直営(現行どおり) 直営(要改善) 民間等実施 廃止</p> <p>岡山県や岡山県産業振興財団の中小企業支援制度の利用を考慮し、環境施策等、広く工業振興につながる制度も視野に入れた検討が必要である。</p>					
特記事項 (事業の沿革等) (他都市との比較等)						